



TITLE:

官業問題二就キテ(二)

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 官業問題二就キテ(二). 經濟論叢 1917, 4(2): 164-184

ISSUE DATE:

1917-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127164>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第四卷 第二號

大正六年二月一日發行

論說

- 『經濟學者ノ第一思想』ヲ讀ム……………法學博士 河上 肇
官業問題ニ就キテ(二)……………法學博士 神戶 正雄
體質廢頽問題(三)……………法學博士 財部 靜治
經濟心理學ノ組織的研究(二)……………米田 庄太郎
消費ニ關スル學說ノ發達(二)……………瀧本 誠一

時事問題

- 減債基金論……………法學博士 小川 郷太郎
日支經濟關係ノ真相……………法學博士 戶田 海市
關西商業會議所聯合經濟調查會事業概況……………法學博士 神戶 正雄

雜錄

- 經濟雜話(八)……………法學博士 田島 錦治
中世ニ於ケル賣買ノ擔保……………文學博士 三浦 周行
不換紙幣ノ價格ニ付テ河上博士ニ答フ……………法學博士 戶田 海市
米ノ卸賣價格ト小賣價格……………法學士 河田 嗣郎
植民國トシテノ丁抹ノ末路……………山本 美越乃

官業問題ニ就キテ(二)

神 戸 正 雄

第二段 生産政策ヨリ觀タル官業

官業ヲ政治上ヨリ觀察シタル後ハ、之ヲ經濟上特ニ先ツ生産政策上ヨリ觀察スルコトガ肝要ナル。此ニモ肯定否定ノ兩觀點ガアリ、肯定ハ主トシテハ給付ノ品質ノ良好ヨリ來リ、否定ハ主トシテ費用ノ割合ニ多大ナルコトト、對外活動ノ困難ナルコトトニ係ル。費用ノ點カラシテ肯定トナルヘキ論點モアルガ、此ニ於テハ否定的論點ノ方ガ重キヲ成スヤウデアル。デ此生産政策上ヨリシテハ、事業ガ對外的ニ活動スルモノタラザルコトト、仕事ノ運營ガ簡單デ外界ノ推移ニヨリ動搖ヲ受クルコトノ少キモノタルコトト(註二)ガ官業タルニ必要ナル條件トナル。即チ今日ノ世界のニ活動シ仕事ノ複雑ナル普通ノ事業ニハ民業ノ方ガ良ク、對内限リデ仕事ノ簡單ナル事業ニテモ必ズシモ官業ノ方ガ有利トハイフコトガ出來ズ、此ニ在テモ官業ガ民業ト競争スルコト往往ニシテ困難デアリ、漸ク官業ヲ法定獨占トスルコトニヨツテ命脈ヲ保ツコトヲ得ル次第デアル。(註三)デ實際生産政策上ニハ官業ノ否定ヲ爲スノガ通説デモアル。(註三)下ニ項ヲ分ツテ細説シヤウ。

(註一) かいづる曰ク、所謂私經濟的企業ニマテノ國家ノ能力ハ、特ニ生産行為ガ簡單ニ、變動少ク、常ニ監査ノ出來ル仕事ヨリ成リ、景氣ノ動搖ノ觸レザルダケニテハ大イトはるぐも亦曰ク、公營ハ夫ノ急速ニ大ニ變動スル所ノ市況ノ急速ナル捕捉ニヨリテノミ、又多様ニシテ動搖スル所ノ嗜好ノ方向ニ適應ヘルコトニヨリテノミ成績ヲ舉グヘキガ如キ行為ニハ適當シナイト。²⁾ ういゝふふるこも亦タ、各種ノ經濟事業ガ公共團體ニヨリテ適當ニ經營セラルルカハ、事業ノ性質ガ旅客運輸ヤ、給水事業等ノ場合ノ如ク、一定ノ範例ニヨツテ經營セラルルヤニ係リ。——又官業ハ郵便電信造幣煙草專賣、貯金事務等ノ如ク其業務方法ノ容易ニ一定ノ法則ニヨツテ定メラルルモノニ適スルトイフノデアル。³⁾

(註二) ろつしあーハ曰ク、國營業ガ十分發達シタル私鐵爭ニ堪ユルコトハ非常ニ稀デアル。立法者ガ彼等ニ獨占ヲ許スコトニヨリテノミ彼等ガ維持シ得タト。⁴⁾

(註三) (一) 大抵ノ學者ハ此觀點カラ官業ノ不利ヲ説ク。例之、らうハ曰ク、經驗ハ政府ガ工業ヨリシテ、此ニ使用シタル資本ノ割合ニ小ナル利得ヲ舉ルコトヲ證スルトべるさうすモ亦曰ク、經驗ニ依レバ政府ガ其役人及其他ノ機關ニヨツテ國家ノ計算ノ爲メニ營メル工業ハ、小ナル利益又ハ無利益又ハ損失ヲ生ジタルコトヲ示スト。⁵⁾ ぼーりゆーハ曰ク、國家ガ通例不成績ナル工業者タルコトハ爭フコトヲ得ナイ。國家ガ紡績所ヲ起シ、織物屋トナリ、鐵工所ヲ起スコトハ愚ナルコトデアル。併シ諸多ノ經驗ニ依レバ、國家モ處理ノ簡單ナル或工業ハ大シタ弊害ナクシテ行ヒ得ルヤリデアル。例之、煙草製造業ノ如シト。⁶⁾ ぶあいふあーハ曰ク、國家ガ不良ナル經濟者タルコトガ證明サレタトスレバ、斯ノ如キ營利源ノ利用ヲ各個人ニ任カスコトガ一般ノ利益カライフテ其義務デアル。何トナレバ之ニヨリテ一般ノ財ノ生産ガ増加セラレ、國民ノ幸福ガ急速ニ増加スルカラト。⁷⁾ ぎゆーよーハ曰ク、一八七八年ニ伊太利ニテ國有鐵道審查委員會ガ出來、一八八一年ニ報告ヲ出シタ。之ニ依ルト、國家ハ自ラ運轉シテハナラヌ。何トナレバ國家ガ私企業ヨリモ一層小費用ニテ一層大効果ヲ舉グ得ル仕事ハ頗ル僅少デアルカラトアルト。⁸⁾ 更フニだんハ國營鐵道ガ民營トナツタ爲メニ一層有利トナリ、反對ニ民營ガ國營トナツタ爲メニ不利トナツタ諸例ヲ舉グ。即チじよるじあ州ガ以前ウにすたーん、ゆんぞ、あきらんちつく線ヲ年々ノ損失ニテ運轉シタノニ、之ヲ會社ニ貸下テ以來、有利ニナツタ。——又佛蘭西ニテハ一九〇八年ニ西部鐵道ガ政府ニ移ツタガ、一九〇八年ト一九一

1) Kaizl, Finanzwissenschaft II. S. 12
 2) Borgh, Finanzwissenschaft, S. 46.
 3) 東亞經濟調查局、官營事業ト私營事業、II.
 4) Roscher, System der Finanzwissenschaft. 5 Aufl. I. S. 153.
 5) Rau, Grundsätze der Finanzwissenschaft. 5 Aufl. I. S. 211.
 6) Bergius, Grundsätze der Finanzwissenschaft. S. 205.
 7) Beaulieu, Traité de la science des finances. I. p. 93.

二年トテハ總收入ハ一二%ノ増加デアアルノニ、營業費ハ五〇%ノ増加ヲ示シテ居ル。此間ニ何等勤務上ノ改良ナク、ムシロ此ガ劣惡トナツタ。又斯ノ如ク大キナ運輸費ノ増加ハ佛蘭西ノ五大私營鐵道ニハ起ラナカツタ。——更ニ伊太利ニテハ一八九一—一九〇五年間ノ私營ノ下ニ於ケル鐵道ノ平均運輸費ノ總收入ニ對スル割合ハ六七・五%デアツタノニ、一九〇五年ニ政府營トナルニ至テ、一九〇七—八年ニハ重大ナル運賃ノ變更ナクシテ、右ノ割合ガ八二・六%トナリ、一九〇九—一〇年ニハ七七・三%、一九一〇—一一年ニハ八〇・三%トナツタ。¹⁰⁾

(る)獨リふなづけハ生産ノ立場カラ國營ノ不利デナイコトナ説イテ居ル。曰ク、嘗テハ國家ハ私企業者ヨリモ一層高價ニ而モ不良ナル物ヲ生産ストイフ非難ガアツタガ、今日ハ當ラザルコトトナツタ。最良ノ人力ハ私勤務ヨリモ國家勤務ヲ選ムコトトナリ、資本力ニツイデモ、國家ハ其ノ殆ンド無限ナル信用ニヨツテ他ノ企業者ヨリモ有利ニ得ルコトトナツタ。¹¹⁾

(一) 肯定的論據——

(A) 給付ノ品質及供給量ニ關スルモノ

(い)給付ノ品質ノ良好ナルヲ得ルコト——民業デアレバ經營ガ營利ヨリ打算サルカラ、間組惡ナル給付ヲ爲スコトトナルノニ、官業デアレバ公益ヲ尊重シテ優良ナル給付ヲ爲ス傾ガアル。特ニ此事ハ貨幣鑄造ノ如キニ於テ最著シイ。鐵道ノ如キニ於テモ國營ナルニヨリ初メテ統一ガ完全ニ行ハレ、(註四)隨ツテ此統一制度ノ下ニ給付ガ一層迅速正確簡單ナルヲ得ルコトトナル。(註五)特ニ官業デアルト此ガ獨占トナツテモ、民業ニ於ケル獨占ノ如ク濫リニ價ノミ高クシテ之ニ對シ不相當ニ惡シキ給付ヲ爲スガ如キコトハ少ク、萬一官業ニ於テ不相當ニ高キ價ガ要求セラレテモ、其ニヨツテ得ラルル利益ハ他ニ公益上有益ニ使用セラルルコトトナルカラ恕スルニ足ル。

8) Pfeiffer, Die Staatseinnahmen. I. S. 97.
 9) Guyot, Where and why public ownership has failed. p. 78.
 10) Dunn, Government ownership of railways. pp. 145. 146. 148.
 11) Vocke, Die Grundzüge der Finanzwissenschaft. S. 34.

此事ハ交通業ノ如ク獨占の傾向アルモノニ於テハ頗重要ナル點デアル。尤モ官業デアルカラトイフテ、必スシモ常ニ一層安ク優良ナル給付ガ爲サルト限ラズ、(註六)間々不親切横暴等ノ非難ヲ聞ク所デハアル。又民業ト雖モ高價ニ不良品ヲ供スルトイフコトニハ自然的ノ制限モアリ、且ツハ交通等ノ如ク公益ニ關スルコトノ重大ナルモノデ而モ獨占トナル傾アルモノニ對シテハ、政府ノ特段ナル監督モ行ハレ、其上ニモ輿論ノ監督モ行ハルル所デアルシ、且ツ若干ハ教育ニヨリテ公益尊重ノ念ヲ厚クセシムルコトモ出來ル。夫ノ英國ノ鐵道ガ私營ナルニ拘ラズ、國營ニ傾キタル大陸ノ其ヨリモ一層列車運轉度數多ク、速力大ニ、賃率安ク、(註七)事務員靜カニ禮讓アリ親切也トイハルルニ依ツテ見ルモ、民業必ズシモ不良トイフコトノ出來ヌコトヲ證スル。併シ斯ノ如キハ畢竟英國民ノ強キ自制心ト健全ナル輿論トニ係ルモノデ、必ズシモ他國ニテ之ヲ望ムコトヲ得ヌ。

(註四) ばーりゆーハ曰ク、國家ノミガ統一アリ合理的ナル經營ヲ齎ラハコトヲ得ル¹²⁾。へつけるハ曰ク、國有鐵道ノ固有ノ經營ハ——鐵道制度ノ統一——管理ノ計畫的ナルコトニ適フ¹³⁾。而シテえーべるハ曰ク、公益ハ凡ヘテ交通制度ノ統一的計畫ニ從テ立テラルルコトヲ要求スト¹⁴⁾。

(註五) えーべるハ曰ク、發展シタル交通網ニ於テ、諸多ノ獨立セル管理ニ經營事務ノ分散スルコトハ、給付能力ノ十分ナル利用ヲ不可能トスヘク、費用隨テ運賃ノ大ナル騰貴、經營ノ緩慢等ヲ生ズル¹⁵⁾。

(註六) れーばーノ研究ノ結果ニ依レバ、鐵道ノ官營ハ特ニ優良ナル勤務ヲ供シナイ。其貨物勤務ハ特ニ能率ヲ缺イテ居ル。——特ニ安クモナカツタト¹⁶⁾。だんハ曰ク、經驗ニヨレハ通例、重ナル私設鐵道ガ重ナル國有鐵道ト同丈ノ十分ナル旅客利便

12) Avebury, Staat und Stadt als Betriebsunternehmer. S. 115-6.
 13) Beaulieu, l. c. p. 100.
 14) Heckel, Lehrbuch der Finanzwissenschaft. II, S. 343.
 15) Eheberg, Finanzwissenschaft. 9 Aufl. S. 98.
 16) Wagner, Finanzwissenschaft. I. 3 Aufl. S. 687.
 17) Eheberg, ebenda. S. 98-9.
 18) Guyot, l. c. p. 123.

ヲ供シ、貨物勤務ニツキテハ稍大ナル利便ヲ供スル。——獨逸ノ國有鐵道ノ貨物勤務ハ英國ノ私有鐵道ノ其ヨリモ殆ンド凡ヘテノ點ニテ劣ツテ居ル。——旅客列車ノ平均速力ニツキテハ、英國ハ他國ヨリモ大デ、佛國ノ私有鐵道ガ歐羅巴ニテハ之ニ次ギ、獨逸ノ國有鐵道ハ第三位ナル。——得フルヘキ證明ハ、政府鐵道ガ全體上、私有鐵道ヨリモ一層、實率ヲ安クスルコトニ傾クコトノ主張ヲ支持シナイト。¹⁹⁾

(註七) ぎゆーまーハ曰ク、英國ニ於ケル運送費ハ鐵ノ生産費ノ一〇%ニ當ルノニ、獨逸ニテハ其ガ二三%ニ當ルト。²⁰⁾

(ろ) 給付ノ供給量ノ適當ナルヲ得ルコト——即チ民業デアルト、營利ヨリ打算シ、之ニ合ハナクレバ假令全體上必要デアツテモ顧ミナイ。又他方投機ニ支配セラレテ時ニ有要ナモノヲ作ラザルト同時ニ、往々ニシテ不要ナルモノマデモ作ルノニ、官業デアレバ全體上有要ナルモノハ公益ヨリ判斷シ投機ニ左右セラルコトナクシテ、規則正シク作ルコトナル。(註八) 特ニ鐵道ニ在テハ鐵道網ノ普及、(註九) 軍事上必要ナル線路ノ敷設、不利線ノ敷設ガ官業デアルト一層容易デアル。不利線ノ敷設ハ政府ノ有スル他ノ有利線トノ相殺ニヨツテモ行ハレ易イ。(註一〇) 製鐵所兵器製造所ノ如ク有要ナルモノモ、少クトモ民間ニテ技術及資本ニツキ之ヲ營ムダケニ成熟セザル時代ニハ、政府直營トスルノ外ハナイ。(註一一) 但シ今日ノ進歩シタル工業國ニテハ此必要ハ甚少イ。(註一二) 尤モ官業ニテモ必スシモ公益上ノ必要ヲ精密ニ打算シナイデ作り、又ハ作ラナイ。即チ政府及議會ノ恣意ヨリ又ハ政略上ヨリ決定セラルルコトガアル。(註一三)

(註八) えーべるひハ曰ク、株式會社ハ、大ニ金融市場ノ狀勢ニ係リ、投機熱ノ盛ナル時ニノミ私企業ガ之ニ干與シ、其下ニ於

19) Dunn, l. c. pp. 203, 213-4. 220, 302.

20) Guyot, l. c. p. 67.

ケル鐵道網ノ發達ハ飛躍的ナル。反之國家ハ其大信用ノ爲メニ金融市場ヨリ獨立テ、隨テ一層恒久的且均等的ナル發達ヲ遂クルコトヲ得ルト。²¹⁾ わぐな一ハ曰ク、私有鐵道ノ建設ハ固有鐵道ノ建設ヨリモ一層多ク、金融市場ノ當時ノ狀況ニ係リ一層大ナル範圍ニ於テ特ニ唯ダ回期的ニ投機時代ニ行ハル。何トナレハ此時ニ株式ニ於ケル相場利用ガ一層盛ニ之ヲ誘惑スルカラト、²²⁾ へつげる亦曰ク、國有鐵道ノ固有ノ經營ハ其金融市場及取引所ヨリノ獨立——ニ適合スルト。²³⁾

(註九) だんニ依レバ一九一〇年二一〇〇平方哩ニツキ鐵道線路ノ哩數ハ

政府有ノ主トシテ行ハル國	民有ノ主トシテ行ハル國
白耳義 1200	合衆國ノ第二類(西歐ニ等シキ地方) 1100
瑞西 1200	英國 1200
獨逸 1200	佛國 1100
奧匈 1000	瑞典 1000
伊太利 2000	西班牙 800
諾威 1000	
人口一萬ニツキ線路哩數ハ	
瑞西 1200	瑞典 1200
諾威 1200	合衆國第二類 1100
白耳義 1200	佛國 1100
獨逸 1200	英國 1100
奧匈 1000	西班牙 800
伊太利 2000	

(註一〇) わぐな一ハ曰ク、國家ガ全鐵道ヲ引受クルナラバ、從ハ統一アル計畫的ノ鐵道ヲ計畫スルコトガ出來ル。不利線ヲ有利線ノ利益ニ依テ負擔シ、全國ニ一層完全ニ而モ一層平等ニ鐵道 備ヘルコトガ出來ルト、²⁴⁾ ろつしあ一ハ曰ク、大ナル運送企業ノ國營ニ有利ナルコトハ、交通多キ地方ヨリノ利益ニ依ツテ邊鄙ナル區域ヲ加フルコトヲ容易トスルコト、當該運送企業ノ計畫的擴張ヲ可能トスルコトデアルト、²⁵⁾ こーんハ曰ク、利益ノ見込少クシテ私的企業ヲ誘フニ足ラザル田舎地方及連絡線ハ之ヲ一般(國家)ノ犧牲ニテ建設スルノ必要ガ生スルコトナリ、斯クテ利益ヲ齎ラス所ノ私有鐵道ト損失ヲ生ズル所ノ國有

21) Eheberg, a. a. O. S. 96.
 22) Wagner, a. a. O. S. 673.
 23) Heckel, a. a. O. S. 343.
 24) Dunn, l. c. pp. 184. 185.
 25) Wagner, a. a. O. S. 673.
 26) Roscher, a. a. O. S. 161.

鐵道トノ對立ガ同一國内ニ存スルコトナル。ガ此反對ハ右ノ兩者ヲ包括スル所ノ統一的國有鐵道制度ニヨツテ排除セラルコトヲ得ルト²⁷⁾。えーべるひモ亦曰ク、國家ガ、私會社ニ於テ最高ノ純益ヲ生ゼザルベキ一定ノ計畫ニ從テ鐵道ヲ造リ、又ハ無收益ナル副線ノ建設ニヨツテ鐵道網ノ缺陷ヲ充タスコトヲ希望スルトキハ、國家ハ此私立會社ニ大ナル補助ナ補助金又ハ補助利子ノ形ニテ與フルコトナルデアラウ。然ラザレバ、小收益ナルモ國民經濟上ノ理由ヨリ希望スヘキ線路ヲ、一般ノ方便(國費)ニヨツテ建設シ又ハ引受ケテ、而カモ他方收益アル線路ノ與フル利得ニ干與スル能ハザルコトナルデアラウト²⁸⁾。ういーどふゐるモハ曰ク、私立鐵道會社ニ取リテハ毫モ收益ノ見込ナキ多數ノ不利益線モ、大規模ノ國有鐵道ニ於テハ容易ニ之ヲ敷設スルコトが出来ルノミナラズ、却ツテ幹線ノ運輸促進線トシテ間接ノ利用ニ供セラルルト²⁹⁾。

(註一) みるハ曰ク、共同事業ノ實行ノ幼稚ナル國ニテハ、大ナル資本ノ結合ヲ要スル事業ニハ政府之ニ當ルノ外ナイト³⁰⁾。

(註二) かいづるハ曰ク、後レタル國ノ政府ハ一層進シテ國デハ不必要ナル事業ナモ直接ニ企ツルコトナルベキデアラウト³¹⁾。且ツ直接國家經營ヨリハ他ノ設備(博覽會、博物館、學校、書物、鐵道)ガ大ニ刺戟ト教育トヲ與ヘ又媒介スルカラデアルト³²⁾。

(註三) わぐなゝハ曰ク、線路ノ選擇ニ於テ、及其建テラルル時期ニ於テ、國家ハ往々、ニシテ一方的ニ、或地方或場所ノ特段ナル利益ヲ顧慮シ、政府ガ政黨上ノ目的ニ從ヒ、國民經濟上ノ利益ガ此ニ於ケル標準トナラナイト³³⁾。えーべるひハ曰ク、國家ハ鐵道網ヲ或ハ誤リタル節約ヨリ餘リニ少シク擴張シ、或ハ特別利益ノ代表者ニ對スル弱點ノ爲メニ餘リニ多ク擴張スル危險ガアルト³⁴⁾。

(B) 費用及價格ニ關スルモノ

(イ) 費用ニ關スルモノ

(1) 費用ノ小ナルヲ得ルコト——官業ニ於テ民業ヨリモ費用ノ一層小ナルヲ得ルノハ下ノ

27) Cohn, System der Finanzwissenschaft. S. 223.

28) Eheberg, a. a. O. S. 98.

29) 東亞經濟調查局。前出。28.

30) Roscher, a. a. O. S. 156.

31) Mill, Principles of Political economy. B. ch. IX. § 2.

32) Bastable, Public finance. 3 ed. p. 196.

33) Kaizl, a. a. O. S. 10.

34) Wagner, a. a. O. S. 670.

34) Borgh, a. a. O. S. 56.

36) Eheberg, a. a. O. S. 96.

三點ニ依ルノデアル。第一ニハ官業デアレバ民業ヨリモ資本及勞力、特ニ高級勞力(註一四)ヲ一層安ク利用スルヲ得ル。特ニ其資本ニツキテハ大體良財政ヲ有スル國家ハ、其國內ノ良會社ヨリモ一層有利ニ之ヲ借入ルルコトヲ得ル。(註一五)不良財政國ハ間々會社ヨリ劣ルコトガアツテモ、此時ニモ其國ノ會社ハ矢張り國ノ財政ノ惡影響ヲ受ケ、隨ツテ兩者ノ差ハ小ナルモノトナル^{○37)}而シテ其結果トシテ外國ヨリノ借入ニ係ル場合ニ官業デアアル方ガ其國ニ有利ナルハ明カデアアル。國內ヨリ借入レタ場合ハ官業ナルガ爲メニ一層少キ利子ガ資本家ニ拂ハルルコトガ有利カ否カハ、畢竟其安キダケノ金ガ政府ニアアル方ガ利カ、資本家タル人民ニアアル方ガ利カトイフコトニ歸着シ、其何レガ利カハ各場合ニヨリ異ルコトデ、一概ニ斷定スルコトヲ得ヌ。一方資本家ニ在ルトキハ、此ガ更ナル生産的事業ニ向ケラルルコト大ナル傾モアルガ、併シ間々單ニ其奢侈ニ向ケラルルコトモアルシ、他方政府ガ之ヲ濫用スルコトハアルガ、生産的ニ使フコトモアリ、少クトモ有盆ニ使フコトハ多イ。而キ此ガ公益ニ關スルコト大ナルニ於テ、私人ノ奢侈ニ向ケラルルヨリ勝ルコトハ勿論、其生産的ニ利用セラルルニモ勝ルコトモ少クナイ。次ニ勞力ノ方ハ此ガ外國ヨリ雇入レラルルノハ重要デナイ。此ハ稀ナルコトデモアリ、斯カルモノニアツテハ官業デアアルガ爲メニ特ニ安ク雇エルトイフコトハ、國內ノ場合ノ如ク著大デモナイ。而シテ國內ヨリ雇入ノ場合ニ至テハ其安イ方が良イトイフコトハ爭フヲ得ナイ。此ニ安イトイフノハタダ高級吏員デアアル

故、安イカラトイフテ社會的救済ノ必要ハ起ラヌ。彼等ガ薄俸ニ甘ンズルダケ、高俸ノ場合ニ比シ奢侈ヲ抑ユルコトトナルニ止マル。ムシロ得策デアル。(b) 第二ニハ民業トシテ自由競争ニ任カシテ置ケバ益々改良新式ニ移ツテ(註一六)舊資本ヲ不要ト爲シ、競争者ヲ倒シテハ其固定資本ヲ無價值ニ齊シカラシメ、爲メニ資本ヲ浪費スルコトガ少クナイ。之ニ伴フテ勞力モ舊方法カラ新方法ニ移ツテ之ニ順應スル爲メニ若干ノ時間ヲ要スル。此損失ハ官業特ニ其ガ獨占トナル場合ニハ避ケルコトガ出來ル。此モ確カニ官業ヲシテ民業ヨリモ、費用ヲ一層小ナラシムル一ノ動機デアル。併シ此ハ實ハ官業ナルガ爲メノ利トイフヨリハムシロ獨占ノ利トイフヘキモノデ、民業デモ獨占トナレバ此利ガアリ、隨フテ格別官業ノ利トシテ數フルニ足ラヌモノデアルノミナラズ、民業ノ下ニ盛ニ改良ガ行ハレタリトセバ、其ハ社會ニ一層ノ利便ヲ生ジテ、右ノ損失以上ノ利益ヲ舉グルト認ムベキコトガアリ、假令サウイフコトガ出來ナクトモ、兎モ角人文ノ進歩デアルカラ希望スヘキコトトイハナケレバナラス。(c) 次ニ第三ニハ特ニ全國統一聯絡ヲ要スルモノ、例之交通ノ如キニ於テハ、民業ニテ數多企業ガアレバ聯絡ノ爲メニ特別費用ヲ要スルコトトナルノニ、國營デアレバ此ガ入ラヌコトトナル。(註一七)民業ニシテ大會社ニ合同シタ場合ニモ尙全然國家ニ統一サレタ場合ノ如ク簡單トナルコトハ出來ナイ。

(註一四)

ふなつけハ最良ノ人力ガ私勤務ヨリモ國家勤務ヲ選ムコトトナルトイフガ³⁸⁾其ハ必ズシモ然リトイフコトヲ得マ

イ。唯だ國家ハ高級吏員ヲ民衆ヨリモ一層安ク得ルコトガ出來ルトイフニ止マル。

(註一五) ³⁹⁾ べるぎうすハ曰ク、各箇ノ私企業者ハ國家ヨリモ小ナル資本及信用ヲ有スルト ⁴⁰⁾ ふなつけハ曰ク、資本金ニツイデモ國家ハ其ノ殆ンド無限ナル信用ニヨツテ他ノ企業者ヨリモ有利ニ之ヲ得ルコトトナツタト ⁴¹⁾ ういーごふえるこモ亦曰ク、由來公共團體ノ信用能力ハ國家デアレ將タ地方自治體デアレ何レニシテモ、一般ニ私立會社ノ其ヨリモ遙カニ勝レテ居ル ⁴²⁾

(註一六) (い)えふべりーハ曰ク、官廳の干涉ハ發見及發明ノ進歩ヲ妨ケナケレバナラヌト ⁴³⁾ ぎやういーハ曰ク、産業上ノ進歩ハ私人ニ屬シテ政府ニ屬シナイト、又曰ク一體新事業ハ私人ニヨツテ齎ラサレタ。電車ハ合衆國ニテ私企業が成績ヲ顯ハシタ後ニ、英國デ公共事業トシテ容易ニ行ハルコトトナツタト ⁴⁴⁾ 尤モういーごふえるこハ之ニ對シ官業ニデモ改良進歩ノ行ハレ得ルコトヲ説キ曰ク、現今常ニ新親ナル技術上ノ進歩ヲ追ヒ、直ニ之ヲ採用シテ其實効ヲ試ムルコトニ於テ陸海軍程熱心ナルハナイ。而モ此ハ如何ナル國ニテモ皆國家ノ管掌ニ屬シテ居ルコトヲ見レバ直チニ右ノ如キ非難ノ根據ナキコトヲ曉ルコトガ出來ルデアラウト。然シ陸海軍ハ特別デアアル。之ヲ以テ一般ヲ推スハ當テ得ナイ。 ⁴⁵⁾

(註一七) わぐなーハ曰ク、(民營ニ於テ獨立ナル鐵道企業ノ大數ガ成立スルコトニヨツテ)全鐵道網ノ管理ガ統一アル國有鐵道制ヨリモ一層疎遠トナリ、一層不均衡トナリ、又一層多費トナルト。 ⁴⁶⁾

(2) 災害費等ノ平均ヲ得ルコト——官業デ多數ノ工場鐵道等ヲ統一包含シテ居レバ、民業デ其ノ分散シテ居ル場合ニ比シテ災害費等ハ年々平均サルルコトガ出來テ、經營ガ一層容易ナルコトガ出來ル。是ハ確ニ官業ノ一長所デアアル。(註一八)

(註一八) ばすてーハ曰ク、大ナル鐵道ニテハ、災害費及其他ノ損失ガ各年ノ間ニ平均サルルコトヲ得ルデアラリ。尤モ小國ハ此損失ヨリノ逃場ヲ有ツコトヲ得ナイデアラウト。 ⁴⁷⁾

39) Wagner, a. a. O. S. 678.
40) Bergius, a. a. O. S. 205.
41) Vocke, ebenda.
42) 東亞經濟調查局、前掲 26.
43) Avebury, a. a. O. S. 4.
44) Guyot, l. c. pp. 292. 425.
45) 東亞經濟調查局、前掲 35.
46) Wagner, a. a. O. S. 674.

47) Bastable, l. c. p. 227.

(ろ) 價格ニ關スルモノ

(1) 價格ノ小ナルヲ得ルコト——前記スル所ニ依レバ官業デハ費用ガ民業ヨリモ一層小ナルヲ得ルガ、後ニ述ブル如キ反對根據モアルカラ、費用ノ點カラハ全體上官業多費ノ傾ガ大キクアルヤウニ思ハルルケレトモ(註一九)官業ガ給付ノ價格ヲ定ムルニ付テハ、公益ヲ顧ミテ民業ノ場合ヨリモ一層低廉ニスルコトが出来ル。(註二〇)此價格ガ國內ノ生産事業ノ生産費ヲ成ス場合ニハ其低廉ハ生産政策上洵ニ希望スヘキコトデアル。勿論官業ノ場合ノ價格ガ一層小トイフコトハ必スシモ常ニ然ルノデナイ。

(註一九) わぐな—ハ鐵道ニツキ、各箇ノ國有鐵道ガ一層高キ費用ニテ管理セラレ、絶對的ニモ相對的ニモ即チ總收入中、經營費ノ一層高キ百分率ニテ管理サルトイフ内部ノ根據ハ存在シナイトイフケレトモ、其ハ極論デアル。ぎゅー—ハ實例上カラ、佛國ノ西部鐵道ニツキ、民營時代ヨリモ國營時代ニ入ツテ利益ノ大減少、費用ノ大増加ヲ示シタトイフテ居ル。⁴⁸⁾此例ヨリシテ直チニ凡ヘテヲ推スコトハ出来ナイガ、大體官業多費ノ傾ノ強イコトダケハ太過ナク斷言が出来ル。

(註二〇) わぐな—ハ鐵道貨率ニツキ國有鐵道ノ方有利デアル。國有鐵道ハ其本質上、純營利的立脚點ヲ取ル必要ガナイカラトイフテ居ルガ、此ハ推シテ他ノ官業ニ及ボスコトヲ得ル。⁵⁰⁾

(2) 價格ヲ産業保護ニ適フガ如ク按排シテ定ムルヲ得ルコト——前ニイフ如ク官業ノ場合ノ價格ガ民業ノ場合ヨリモ一層安イコトハ必スシモイヘナイガ、官業デハ價格ノ定メ方ヲ按排シテ、國民經濟上重要ナル産業ノ保護ヲ爲スコトハ出来ル。(註二一)

48) Wagner, a. a. O. S. 684.

49) Guyot, l. c. p. 109.

50) Wagner, a. a. O. S. 687.

(註二) かいづるハ鐵道ニツキテ曰ク、國家ハ外國ニ對スル防禦(攻撃ニモ)ニ鐵道ヲ賃率上利用スルコトガ出來ルト。⁵¹⁾ 即チ國有鐵道ニアツテハ其實率政策ニヨツテ產業保護ヲ爲スコト、到底私有鐵道ノ比デハナイ。

二 否定的論據

(A) 根本的ノ否定論據 官業ニ於ケル給付ノ品質ノ不良及特ニ其多費ナルコトノ根本的ノ論

據ハ官吏ノ心理事情及其執務形式デアル。元來政府ハ自然人デナク、随フテ是非トモ役人ヲ使フテ其事業ヲ運轉スルノ外ハナイノニ、此役人仕事ニ伴フ心理上及形式上ノ缺點ガ官業ヲシテ根本的ノ不利ナルモノタラシムルコトナルノデアル。即チ

い 官吏心理

(1) 官吏ニ於テハ事業ニ對スル利益ノ念ガ鋭カラズ、随テ彼ノ事業ニ於ケル努力節約ガ不十分デアリ、且ツ複雑ナル仕事ヲ精密ニ爲スコトガ出來ナイ。(註二) 尤モ民業デモ近世企業ノ從業者ノ事業ニ對スル利益ノ念ハ鋭クナイ傾ガアル。近世企業ハ大體益々大企業ニ傾キ、大資本家の營利組織タル株式會社ニテ行ハルルノ勢ガアリ、特ニ政府ノ營ムホドノモノハ多クハ此大企業的特ニ會社のニ行ハルルモノデ(註三)、會社ハ結局株主全體トハ異ル所ノ重役使用人ニヨツテ行ハルルノ外ナク、重役ハ株主ニハ相違ナイカ、其ハ恰モ政府ノ役人ガ其國民ナルト齊シク、彼ガ有ツ株式ハ常ニ會社資本ノ一小部、又一般ニイフテ彼ガ有ツ財産ノ一小部、⁵²⁾ デアルカラ、矢張り他

51) Kaizl, a. a. O. S. 63.

52) Mill, l. c. Bl. ch. IX. §2.

人ノモノヲ扱フトイフ氣分トナリ、政府役人ト會社重役トハ此點ニ於テ大差ナキモノトモイフコトヲ得ル(註二四)ガ、併シ實際ニハ政府役人ハ會社重役ニ比シ事業ニ對スル利益ノ念ガ幾分力薄キコトヲ免レヌ。(註二五)其理由ハ第一ニハ會社重役ノ株主トシテノ利益ガ官吏ノ國民ノ一員トシテノ利益ヨリモ一層切實ナノト、第二ニハ株主ノ會社ニ對スル利害ガ國民ノ官業ニ對スル利害ヨリモ切實ナ所カラシテ、株主ノ重役ニ對スル督勵ガ國民ノ官吏ニ對スル督勵ヨリモ一層嚴重ナトニ在ル。斯ク此點ニ於テ官業ハ民業ニ劣ルトシテ、タダ官業ニ於ケル役人ノ事業ニ對スル利益ノ念ヲ刺戟スルコトガ多少ハ出來ヌコトデナイコトモ亦注意シナケレバナラヌ。第一ニハ道義上ヨリ、使用人道德ヲ固クスルコトガ出來ヌコトデモナイ。詳シクイヘバ各人ハ他人ノ仕事ヲ爲スモ自己ノ職分内ニ在ル以上ハ、自己ノモノト同一ノ注意努力ニテ當ルヘク、此ガ社會ニ對シ他人ニ對スル義務デアリ又大ナル自己ヲ利スル所以ナルコトガ理解サルコトトナレバ官業デモ良クナラウシ、第二ニハ組織上民間企業ト同一方法ヲ採用シ、特ニ役人ノ能力業績ニ依リ報酬ヲ増減シ拔擢昇進ヲ行ヒ以テ彼等ノ利益ヲ刺戟シ彼等ノ能力ヲ最高ク又最有效ニ發揮セシムルコトトスルコトモ出來ルデアラウ。(註二六)但シ實際上ニハ此等ノモノニ多大ノ成績ヲ期スルコトハ難カラウ。(註二七)

(註二二) (い) したいんハ曰ク、(官業デハ)總ベテノ營業ノ第一基礎タル利益ト第二基礎タル損失ノ心配トカ缺ケテ居ル。此故ニ他ノ箇人企業ニ對シテ競争ヲ爲スコトハ不能デアルト、(つ) さハ曰ク、(國家ノ私經濟的財産ノ) 國家直營ニアツテハ、管

理者ノ人的利益ノ缺乏——ヲ缺點トスル。ト。ふあいふあいハ曰ク、政府ハ役人ニヨッテ管理セラルルニ、此役人ハ企業ノ繁榮ニツキ直接利益ヲ缺イテ居ル。然ルニ私人ハ役、ヨリモ大ナル注意、熱心、勉強、節約ヲ以テ從業スル。ト。ぎゅーよーハ曰ク、古來人類行動ノ主要ナル源泉ハ強制ト鼻藥ト利益ノ情トデアアル。今日ノ使用人ハ仕事ノ爲メニ働クデハナクテ、利益ノ爲メデアアル。又曰ク支出癖ハ凡ヘテノ政府事業ノ特徵デアアル。更ニ又曰ク、私人ハ勉強、生産的及經濟的デアアル。行政官及政治家ハ浪費的デアアル。ト。ふべりーハ曰ク、人的觀察及人的利益ノ刺戟ガ私企業ヲシテ政府及市廳ヨリモ一層節約的ニ活動スルヲ得セシメタト。又曰ク、政府及地方廳ヨリ行ハルル勞働ニハ努力及節約ヲ爲スノ刺戟ガナイト。かいづるハ曰ク、自己ノ利益ト自己ノ責任トヲ有ツ所ノ首長ノ元氣ト銳眼トヲ要スル處ニハ、活動小ニシテ往々ニシテ又遲鈍ナル國家行政ハ今日迄ノ處、唯小ナル經濟上ノ利益ヲ生ジタト。ト。特ニ工業ニツキうんぶえんばつハ曰ク、工業的設備ハ政府所有ニ適當シナイ。此工業ニテハ農業ニ於ケルヨリモ一層多ク經營上、成績ニ關係アル經營者ノ強キ利害ヲ要スル。ト。らうハ曰ク、工業的企業ハ農業ヨリモ國家ニ一層不適當デアアル。何トナレハ此工業ニテハ企業者ノ勉強及消費ニ係リ、又常ニ經營上ノ改良ニ注意シナケレバナラヌカラト。ト。はすてーはぶるハ鐵道ニツキテ曰ク、方針ト體系トノ統一ニヨル利益ガ國營ニ於ケル元氣及熱心ノ缺乏ヲ補フヲ得ルヤハ疑ハシイト。ト。

(註三) わぐなーハ鐵道ニツキテ曰ク、問題ハ國有鐵道ガ私鐵道ガテハナクテ、國有鐵道ガ株式會社鐵道ガデアアル。ト。ろつしあーハ曰ク、近頃ハ最重要ナル運送業ハ多數ノ役人ヲ要スルガ如キ規模ニテソミ成績ガ舉ガルコトトナツタ。隨テ企業者トシデハ、國、州、市町村等、又ハ頗ル富メル私人、特ニ株式會社ノミガ考ヘラルルコトトナツタ。ト。

(註四) ぼるぐとハ曰ク、大ナル株式會社ノ行ハレ得ルモノハ、一般ニ其管理サレタル公共團體ノ經營ニモ適當スル。ト。

こつさハ曰ク、鐵道國營ニツイテハ、後害チイフコトハ出來ナイ。何トナレバ多少大ナル鐵道會社ハ鐵道ヲ根本ニ於テ國家ヨリモ異ツタ方法ニテハ經營スルコトガ出來ナイカラト。ト。

(註五) ろつしあーハ熱心——ニ於テハ公吏ヨリモ私吏ガ常ニ優ルコトハ前提スルヲ得ナトイフ。成程常ニ然リトハイヘナイガ、多クノ場合ニ然リトハイフコトヲ得ル。

54) Cossa, Grundriss der Finanzwissenschaft. S. 34.
 55) Pfeiffer, a. a. O. S. 96.
 56) Guyot, l. c. pp. 2-3. 232. 430.
 57) Avebury, a. a. O. S. 4. 51.
 58) Kaizl, a. a. O. S. 12-3.
 59) Umpfenbach, Finanzwissenschaft. S. 348.
 60) Rau, a. a. O. S. 211.
 61) Bastable, l. c. p. 226.

(註二六) 茲ニ科學的管理法ヲ應用シタラ其カラウト思フ。ミムそんニ依ルニ、科學的管理法ノ目的ハ組織ヲ正常標準以上ニ運轉シ、之ヲ能力ノ最高度ニ齎ラスコトデアアル。之ニ依レバ昇進ノ道ガ一層開カレ、――給料ノ上進トモナリ、――標準ノ仕事以上ニ爲シタルモノニハ附加給料ヲモ與フルコトトナル。⁶⁷⁾

(註二七) 尤モ其キ人ガ官業ニ當ルコトヲ得バ、官業ニテモ好成績ヲ擧グルコトニナルハイフマテモナイガ、此ハ必ズシモ期スルコトガ出來ナイ。官業ノ當否論ハ斯カル偶然ノ條件ニ依頼シテ爲ハヘキデハナイ。ヘッけるハ曰ク、國有鐵道ノ固有ノ經營(國營)ガ正當ナル解決デアツタ。併シ此ハ信用スヘキ堪能ニシテ、其ク訓練サレタル役人ヲ前提トスルト。⁶⁸⁾ ばすてーぶるモ亦曰ク、普魯西鐵道ノ其キ財政上ノ結果ハ大ニ、此國ノ勤務ニ於ケル熟練シタル役人ノ熟練及注意ニ歸スヘキモノデアルト。⁶⁹⁾ ういーじふゐるミハ曰ク、此等ノ諸點モ一般ニ想像セラレテ居ル程多大ナル障礙トハ成ツテ居ナイノミナラズ、寧ロ其好ナル當事者ヨリ期待シ得ル正廉、勤勉、深感等ノ特別ナル長所ハ十分此等ノ缺點ヲ補フテ餘リアルモノト思ハルル。――併シ此ノ如キ當業者ヲ缺イテ居ル場合ニハ、官營事業ノ實行ハ極メテ困難デアルト。⁷⁰⁾

(2) 官吏ニハ事業ニ對スル消極的責任自覺ハアルガ、積極的責任自覺乏シク、唯タ過失ナカラシコトニ意ヲ用キテ、進ンデ努力ヲ爲スコトヲ後廻シトスル嫌ガアル(註二八)。隨フテ危險ノ伴フ仕事ニハ特ニ不適當トイフコトトナル。異之民吏ニハ積極的責任自覺ガ比較的強クテ、彼ハ常ニ何カ爲サナケレバナラスト考フル。此點ニテモ官業ハ民業ニ及バナイ(註二九)。尤モ官吏ノ此弊ヲ除クガ爲メニハ道義上積極的ニ仕事ヲ爲スノ美德タルコト、積極的ニ自己ノ爲シ得ル凡ベチヲ爲サザレバ尙ホ責任ヲ完フシタルノデハナイコトヲ訓育スルコトガ肝要デアアルガ、實績ヲ擧グルコトハ困難デアラウ。更ラニハ又組織上官吏ニシテ積極的ニ成績ヲ樹テタルモノニ對スル獎勵

62) Wagner, a. a. O. S. 668.

63) Roscher, a. a. O. S. 160.

64) Borgh, a. a. O. S. 47.

65) Cossa, a. a. O. S. 42.

66) Roscher, a. a. O. S. 160.

67) Thompson, Relation of scientific management and labor. (Quarterly Journal of Economics. Feb. 1916.) pp. 315. 316. 318. 319.

68) Heckel, a. a. O. S. 343.

ノ途ヲ講ズルコトガ一層適切デアラウ。

(註二八) ぶあいふあいハ曰ク、役人ハ固有ノ企業者の精神(各營業ノ繁榮ニ必要ナル)ヲ缺イテ居ル。何トナレハ失敗ハ自分ニトリテ重大ナル結果トナルノニ、成功ハ彼ニトリテ相當ナル利益トナラナイカラデアアル。(自分自身ノ營業ヲ營ムモノト異ンデ)随フテ役人ハ杓子定規ニ拘泥シテ(其ニ據ラヌ方ガ有利ナ場合ニモ)行動スルコトトナルト、⁷¹⁾ぎゅーいーハ曰フ、私企業ノ場合ニハ企業者ハ其行動ニツキ損得トモニ責任ヲ有ツテ居ル。——随テ私企業ニ從事スル者ハ精密ニ計算ヲ爲ス所デアアル。——然ルニ政治家ハ必スシモ右ノ事情ニツキ責任ヲ有タナイ。成功シタトテ彼等ニ利益ヲ與ヘナイシ、失敗シタトテ彼等ガ損失ヲ負擔スルコトトナラナイト、⁷²⁾じょーぢハ公共事務ノ能率ハ大ナル行政ハ三ノ元素(能率ニ對スル民衆ノ欲求⁷³⁾訓練シタル理事者ノ使用、(3)公共吏員ノ選舉者ニ對スル責任ニ係ルトイヒ、此三ノモノノ中ニ就イテハ第一ガ最根本的也ト爲シ、——而シテ過去ニ於テハ此ガ缺ケテ居ツテ、人民ハ此能率ニ注意シナカツタ、其故ハ當時彼等ハ正直ナル政府ヲ得ルコトニ力ヲ用井タカラトイフガ⁷³⁾ツマリ從來役人ハ消極的責任自覺ハアツタガ(正直)積極的責任自覺ノナカツタコト(能率少)ヲ意味スル。

(註二九) 尤モろつしあいハ責任ニ於テ公吏ヨリモ民吏ノ常ニ勝ルコトヲ前提スルコトハ出來ナイトイフガ、併シ反對ニ此點ニ於テ公吏ガ民吏ヨリモ常ニ勝ルトハイフコトガ出來マイシ、ムシロ大體民吏ノ方ガ此點ニ於テ勝ツテ居ルト思ハルル。

ろ) 官吏執務形式

官吏ノ執務ノ形式ハ所謂官僚式デ手續繁雜タルヲ免レズ、徒ラニ時間ヲ空費シ敏活ヲ缺キ、技術販路流行價格ノ變動ヨリ生ズル動搖スル所ノ景氣ニ急速ニ巧妙ニ適應スルコトガ出來ズ、賣買ノ時機ヲ逸シ、必要ナル資金ヲ迅速ニ有利ニ借入ルルコトガ出來ズ、適當ナル勞力ヲ必要ノ時機ニ雇入ルルコトモ出來ズ、改良シタル方法ヲ採用スルコトモ手遅レ勝トナルヲ免レナイ。(註三〇)併シ此手續ノ繁雜トセラルル理由ハ抑々官吏ガ事業ニ對シテノ利益ノ念

69) Bastable, l. c. p. 226.

70) 東亞經濟調查局、前出、13.

71) Pfeiffer, a. a. O. S. 96.

72) Guyot, l. c. pp. 5, 6.

73) George, Increased efficiency &c. (Public Administration and Partisan Politics, The Annals of the American Academy of Politic. and Soc. Science, Vol. LXIV March, 1916.) pp. 77, 78.

74) Roscher, a. a. O. S. 160.

ニ乏シク、動モスレバ一身ノ私慾ヲ計ルカラトイフニ在ル。彼等ニシテ其事業ノ爲メヲ計ルコト自己ノ事業ヲ計ルガ如クデアリ、敢テ其ヨリシテ窃カニ私利ヲ營ムトイフカ如キコトナキヲ得ルナラバ、強イテ彼等ノ執務ノ形式ヲ繁雜ニスルニ及バナイ。故ニ之ヲ出來ルダケ簡單ニスル爲メニハ前ニイフ如ク道義及組織上彼等ノ事業ニ對スル利益念ヲ刺戟シナクレバナラヌ。然ル上ニテ夫ノ手續ヲ簡單トシ更ニ積極的ナル責任自覺ヲモ進メタラ官吏ノ成績ハ大ニ擧ガルデアラウ。尤モ業體ニ依ツテハ不動的デ、手續繁雜ナル形式デ經營シテモ左シタル不利ナキモノモアル。加之手續繁雜ノ弊ハ民業デモ會社トナレバ若干此嫌アルヲ免レナイ。又官吏ノ當務者其人ヲ得ルナラバ、此手續繁雜トイフコトモ大シテ仕事ノ成績ヲ不良トスル程ノ事デモナイ(註三一)。併シ大體カライヘバ官吏ニ於テハ手續ヲ簡單ニスルコトノ行イ難キモノデアルカラ、此非難ハ兎モ角官業ノ觀點トイフヲ妨ゲナイ。官吏當務者ノ人ヲ得ルコトニ至テハ必スシモ期スルコトガ出來ズ、會社ナレバ民業デモ手續繁雜トイフケレトモ、其モ官業ニ比シテハ大體簡單ナルコト爭フヘカラスデアル。

(註三〇) (い)ろしあーハ曰ク、營業ガ各個人ノ人的差異及時ノ急速ニ變遷スル需要ニ適應スルコトノ必要ガ大ナレバ大ナルホド、整頓セル國ノ國家吏員ノ經濟的活動ニ缺クヘカラザル上官ノ訓令、監督規定等ガ愈々邪魔トナルト云フ。國家ノ私經濟的財産ノ國家直營ニツキテハ、其管理者ニ於ケル——官僚的經營ノ不經濟の原則(緩慢、多費、及錯雜ニテ活動スル所ノ)ニテ缺點トナルトイフテ居ル。⁷⁵⁾ (ろ)特ニ工業ニツキ、其ノ國營ニ不適當ナル理由トシテらうハ此工業アハ常ニ需要ノ變化ヲ觀察シ

75) Roscher, a. a. O. S. 152.

76) Cossa, a. a. O. S. 34.

77) Rau, a. a. O. S. 211.

ナケレバナラズ(其が官業デハ難イ)又其ニ於テ確定的ナル一般標準規定カ定メラルルコトが出来ナイカラトイフコトヲ舉ゲテ居ル。⁷⁷⁾ うんぶんばつはモ亦曰ク、工業的設備ハ政府所有ニ適當シナイ。此工業デハ——營業ノ速カニ變轉スル事情ヲ正當ニ利用シ得ル爲メニ其ノ決心ヲ拘束サレナイコトヲ要スル。——役人ノ仕事ガ一定ノ定規ニノミ從フコト——ヲ見レバ、

此方面(工業)ニ於ケル國營ノ不成績ハ明カデアルト。⁷⁸⁾ (はぎやう)ハ國有鐵道ノ管理上、其當局者ニ必要ナル時ニ必要ナルダケノ債券ヲ自由ニ發行スルノ權ヲ得セシメントシテモ、其ハ國家トシテハ行ハレナイト。⁷⁹⁾

(註三一) 官業力敏活ヲ缺クトイフコトニ對シテ、ういじふえるミハ從來ノ實例ニ徴シテモ、凡ヘテ此ノ如キ非難ハ一度適當ナル經營者ヲ得テ、十分其敏腕ヲ振フヘキ餘地ヲ與フルコトが出来レバ、直チニ終熄スヘキモノデアルトイフテ居ル。⁸⁰⁾

右官吏心理及其執務形式ノ結果ハ自フ官業ノ經營ニ於テ(1)改良進歩ヲ後レシメテ其給付ノ品質ヲ民業ノ場合ヨリモ劣シナラシムルノ結果ヲ齎ラシ(註三二)(2)内國販路ノ爲メニ活動スルニハ差支ナイガ、外國ノ市場テ競争スルニハ適シナイデ、其レダケ給付量ガ小ナルヲ免レザルコトナリ(註三三)、(3)有利ナルトキニ賣買スルコト能ハズ又之ヲ敢テモセズ、借入雇入ニツキテモ有利ナル時機ヲ選ブコト能ハズ、勉強モセズ節約モセズ、割合ニ多クノ人ヲ使ヒ(註三四)特ニ鐵道ノ如キニテハ災害費割合ニ大トナル(註三五)トイフガ爲メニ特ニ多費トナラシムルノデアアル(註三六)。

(註三二) 前掲註一六參照

(註三三) こんらいじハ國營採掘冶金等ニツキ、此ガ國內ノ需要ノ爲メ活動スルダケテハ私營ト同ダケノ働ヲ示シタガ、唯一層商人的ニ營ムヘキ輸出ハ國家ノ手デハ困ツタトイフ。⁸¹⁾

(註三四) きういふーハ曰ク、一般ニ公企業ノ從業者ハ一層多人數デ、隨テ永キ間ニハ費用ガ一層大トナルト。⁸²⁾

(註三五) 國營トナレハ不注意ガ多クナリ、災害費ノ嵩ム傾ガアル。だんニ依ルト、佛蘭西ノ西部鐵道ガ私營時代ニ拂ヒタル

78) Umpfenbach, a. a. O. S. 348-9.

79) Guyot, l. c. p. 373.

80) 東亞經濟調查局、前出、35.

81) Courad, Grundriss. Finanzwissenschaft. 2. Aufl. S. 128.

82) Guyot, l. c. p. 3.

賠償金ハ年四十萬弗乃至六十萬弗テアツタノニ、政府管理トナツテ一九一二年ニ二百十二萬弗トナツタ。⁽⁸³⁾

(註三六) 例之鐵道ニツキ、ぎゅーふーハ佛國ノ西部鐵道ニ於テ、民營時代ヨリモ國營時代ニ入ツテ利益ノ大減少費用ノ大増

加ヲ示シテ居ルトイフ。⁽⁸⁴⁾ だんニ依ルト、佛國ニテ一九〇八年ニ西部鐵道ガ政府ニ移ツタガ、一九〇八年ト一九一二年トニテ

總收入ハ一二%ノ増加テアルノニ、營業費ハ五〇%ノ増加ヲ示シ、此間ニ何等ノ勤務上ノ改良ナク、ムシロ勤務ガ一層劣惡

トナツタ。又此ノ如キ經營費ノ増加ガ佛國ノ五大私營鐵道ニハ起ラナカッタ。又伊太利テハ一八九九—一九〇五年間ノ民營

時代ノ鐵道ノ平均經營費ノ總收入ニ對スル割合ハ六七、五%テアルノニ、一九〇五年ニ國營ガ行ハルルコトトナツテ、一九

〇七—八年ニハ重大ナル運賃ノ變更ノ生セラルルコトナクシテ、右ノ割合ガ八二、六%トナリ、一九〇九—一〇年ニハ七

七、三%一九一〇—一一年ニハ八〇、三%トナツタ。⁽⁸⁵⁾ 之ト異リわぐな—ハ鐵道ノ建設費ニツキ往々ニシテ一又ハ他ノ制度ニ

有利又ハ不利ナル相對的建設費ヲ、精密ナル統計的比較ニテ證明セントスルモノガアルケレトモ、二ノ異レル鐵道ガ(頗ル

類似ノ土地狀況ニテモ)決シテ斯ノ如キ精密ナル比較ヲ許サナイコトハ明カテアル。何トナレバ第一ニ常ニ此費用ヲ定ムル

事情ガ多少異ルカラテアル。此費用ノ差異ニツキ管理法ノ異ル以外ニ歸スヘキモノアリヤ、又幾許ガ之ニ歸スヘキカハ到底

測定スルコトガ出來ナイトイフテ居ル。⁽⁸⁶⁾ 加ギゅーふー及だんノ前説ハ同一鐵道ニツキ異レル管理法ノ下ニ於ケル比較研究ノ

結果デアアルカラ、わぐな—ノ反對ヲ許ス餘地ハナイ。(尤モわぐな—ノハ單ニ建設費ニツイテアルガ、此ガ經營費ニモ推シ

得ルト假定シテ)或ハ此モ二ノ異レル時ノ事情ノ差異ニ歸スヘキガ如クテアルガ、其ハ大シタ事ハアルマイト思フ。

(B) 枝葉的ノ否定論據 右ハ官業ノ根本的否定論據デアアルガ、此外ニ若干ノ否定論據ガアツ

テ、其ハ就レモ大シタモノデハナク、之ヲ矯正スルコトモ比較的容易デアアル。

(イ) 給付ノ品質ニ關スルモノ

(1) 政府ハ官業ノ外ニ爲スヘキ本務ヲ多ク有ツカラ、官業ニテハ民業ノ場合ノ如ク事業ニ

83) Dunn, l. c. p. 146.

84) Guyot, l. c. p. 109.

85) Dunn, l. c. pp. 146. 148.

86) Wagner, a. a. O. S. 680.

ノミ専ラナルコトガ出來ズ、隨フテ官業ノ成績ガ民業ノ其ヨリモ惡クナリ、特ニ官吏トシテ爲スヘキ適當ノ方面ノ事ヲ疎ニシテ、ムシロ不適當ノ方面ニ力ヲ用フル嫌ガアル。尤モ政府部内ニテ其々部局ヲ定メテ擔當者ノ出來ルコト故、其官業ノ擔當者カライハバ專心之ニ從事スルノデアルトモイハルルガ、少クトモ上ノ方ノ監督者ノ注意ハ疎トナルヲ免ルルコトヲ得ナイ(註三七)。

(註三七) えぶべリーハみるノ言ヲ引キテ曰ク、政府ノ最高ノ役人ハ其注意ニツキ過負擔トナリ、彼ノミガ行ヒ得ル仕事ヲ疎ニシ、彼ニ非ルモ達シ得ル方面ニ從事スルコトナルト。⁸⁷⁾

(2) 特ニ官業ガ擴張セラレテ殆ンド政府ノ獨占トナルニ於テハ、民間ニテ之ガ經驗乏シクナリ、官業ニ對スル民間ノ批評モ行ハレ難クナリ、改革ナドガ行ハレザルノ傾ヲモツ(註三八)。尤モ外國ニ於ケル同種事業ノ經營方法、内國ニ於ケル類似民業ノ經營方法ヲ以テ批評スルコトガ多少ハ出來ル。

(註三八) えぶべリーハみるノ言ヲ明キテ曰ク、外部ニ在ル公衆モ實際ノ經驗ノ缺乏ノ爲メニ之ヲ其ク批評スルコトガ出來ズ、又改革者來ルトモ、之ヲ實行スルニ由ナキコトトナルデアラウト。⁸⁸⁾

(ろ) 給付ノ供給量ニ關スルモノ

(1) 官業デハ豫算ノ拘束ヲ受クルヨリシテ、必要急迫ナル施設ヲ爲スコトガ出來ズ、給付ノ供給量ヲシテ民業ノ場合ヨリモ不十分ナラシメルコトガアル。(註三九)

(註三九) 例之今日我國ニテ好景氣ガ存シ、勞力ノ需要大ニ、隨テ賃金ノ高クナツテ來タ爲メニ、政府工場ニテハ豫算ノ拘束

87) Avebury, a. a. O. S. 16-7.

88) Avebury, a. a. O. S. 10.

ヲ受ケテ必要ナル勞働者ヲ雇入ルルコトが出来ズ、必要ナル仕事ノ進行ヲ妨ケラルルカ如キ、或ハ鐵道ニ於テ出荷増加シ、消費山積ノ状ヲ呈スルニ拘ラズ、國營鐵道デアルト、民營ノ場合ノ如ク臨機、驛内ノ貨物置場ヲ擴張シ、貨車ヲ増設スルコトが出来ズ、爲メニ社會ニ非常ナル不便ヲ與フルガ如キデアル。

(2) 又他面官業ガアルトキハ政府ガ競争民業ニ壓迫又ハ制限ヲ加フルコトナツテ(註四〇)其結果内國ノ實行力ト資本トガ外國ニ出テ行クコトナリ、切角大ニ發達スヘキ事業ヲ抑エテ却ツテ外國ノ競争力ヲ強ムルコトトナルノ傾ガアル。尤モ此ハ政府ニ於テ民業ニ壓迫又ハ制限ヲ加エナクレバ起ラナイコトデアルカラ、必スシモ重キヲ置クニハ及バナイ。

(註四〇) べるぎウスハ曰ク、國家ノ工業ヲ經營スルモノハ、此ト競争スル私企業ニ、其營業上ノ困難ヲ加フル諸多ノ手段ヲ有スト。⁸⁹⁾

(ハ)費用ニ關スルモノ——官業デハ中下級勞働者ニ民業ノ場合ヨリモ一層高キ給料ヲ拂フ傾カアル(註四一)。社會政策上カラ來テ居ルガ、生産上ニハ打撃デアル。尤モ高級使用人ノ給料ノ割合ニ小ナルコトニヨリ若干ノ埋合ハアル。

(註四一) ういーどふえろ曰ク、官業デハ一般ニ私企業ニ比シテ下級中級ノ使用人ニ對シテ比較的高給ヲ拂テ居ルカ、私企業ニテハ反對ニ、其主任又ハ指導的地位ニアル使用人ニ對シテ特ニ著シキ高給ヲ與エテ居ルト。⁹⁰⁾

89) Avebury, a. a. O. S. 133.

90) Bergius, a. a. O. S. 205.

91) 東亞經濟調查局、前出、37-8.